

第5回西市民病院（市街地西部の中核病院）のあり方検討に係る有識者会議 議事要旨

- 1 日 時 令和3年4月23日（金）14時00分～15時10分
- 2 場 所 三宮研修センター8階805号室
- 3 議 題 報告書（案）について

【議事要旨】

（1）報告書（案）について

（事務局より資料3～5について説明）

●座長

1つずつ区切って議論をしていきたいと思う。まず、報告書案のⅠ西市民病院のあり方検討に係る背景の内容について、ご意見をいただきたい。これは一番初めに丁寧に説明いただき、かなり長い時間をかけて、また振り返ったりもしながら次の議論に進めていったので、ほとんど問題はないかと思う。高齢化あるいは狭隘化、老朽化等々も、今後のあり方のバックグラウンドであったので、これは皆さん頭の中に入っているかと思う。

次に報告書案のⅡ市街地西部の中核病院が担うべき役割と機能、これは一番大事なところである。これもかなり色々なご意見をいただき、反映されたものが出てきているかと思うがいかがか。

●委員

政策的医療、それからがん等々、十分書き込んでいただき、私が若干申し上げたことも入れていただいてありがたいと思う。ただ、救急医療のサマリーがかなり短くなっている。資料4の4ページ15行目以降にはちゃんと書き込まれているが、資料3のサマリーの方は一部違うという気がする。「標準的な診療体制を構築し、地域医療機関と連携のもと、中等症救急搬送を市街地西部内で完結させる」という非常に当たり前のことが、サマリーの方は抜けている。細かいかもしれないがいかがか。こちらの方が場合によっては大切かもしれない。

●座長

本体の方はちゃんと書けているけれども、サマリーの方は省略しすぎということか。

●委員

おっしゃる通りである。ここに書いてあることはそうだが、書かなかった方も大切なのではないかという意味である。資料4の4ページ18行目あたり、地域医療機関との連携とあり、この地域医療機関との連携も非常に大切で、救急前方連携の話である。中等症の救急は、我々で完結させるというこの意気込みは嬉しいなと思う。

●委員

非常に細かいところで申し訳ないが、資料4の7ページ下から2行目に「今後、循環器病対策に関する基本法が施行され」と書いているが、正式な基本法を書いた方が良いので、「脳卒中・循環器病対策基本法」と書き換えていただいた方が良いと思う。

●座長

これは直すべきだと思う。今後というか、もう出来ているので、ここは正しい法律の名前を書くべきである。他によろしいか。

●座長

続いて、報告書案のⅢ再整備の方向性について、ご意見をいただきたい。再整備の手法は、移転新築ということに全会一致で決まった。一番の機能は1床当たり約100㎡と、今のところより1.4倍くらい大きくなるということだと思う。前回色々お話を伺い議論し、全委員の一致、全会一致でこれに集約されたということである。

●座長

それでは最後に、報告書案のⅣ今後検討が必要な事項ということで、用地の検討、あるいは必要な医療者確保、財務シミュレーションや高度医療機器導入の際の採算性、発注方式、設計業者とか工事担当業者の発注方式等の検討、それからこれは神戸市全体でお考えいただかなくてはいけないが、現病院の跡地利用である。このようなことが今後課題として、この会議以外でもご検討いただくことになるかと思うが、有識者会議としてある程度の要望は出来るということである。

●委員

病院の建替えについては、かなり広い場所が必要だと思う。私の住んでいる兵庫区では、4つの小学校が1つに集約されたり、あるいは兵庫区の3つの小学校と中央区の1つの小学校が1つに集約されたりしており、学校の空き地があると思う。そういう学校の空き地を有効活用する方法が取れないかというのが1つである。交通の便利なところかどうかは検討しないといけないと思うが、神戸市は跡地を売ってしまうところが多いので、それらをそういう新しい病院の建替えの用地として残してもらおうということを、神戸市としてぜひやっていただきたいと思っている。

●委員

私たちの地域も再開発でほとんど広い土地がなくなっているが、南部の海の方には空き地がたくさんある。海の方は災害の時には問題があるかもしれないが、景色としては最高に良いところである。そういう面で海の方も検討していただきたいと思っているが、い

かがか。

●座長

津波は東日本大震災のように直接は来ないと思う。瀬戸内海は淡路島や関門海峡、豊予海峡など4つくらいの海峡でせき止められるというか、津波が減衰して来るし、その間時間もかかる。私の関連している赤穂市民病院も海と川の近くにあり、ハザードマップでは1階と2階の半分くらいまで津波が来るとなっている。海の近くが絶対に悪いということもないと思うが、色々なことを考えなければならない。用地については、この会議では大体のことしか決められないので、どこというわけにはいかないし、まだ案も出ていない。そういう意見があったということは、事務局で議事録に残していただきたいと思う。

●委員

今後検討が必要な事項で5項目を列記しているが、これについて早急か速急か分からないが速やかに着手するのか、今後時間をかけて考えるのか、時期的なイメージがこの文章だけでは分からないので、時期的なことについて教えていただきたいと思う。

○事務局

今日ご議論いただき、それを最終的な報告書に取りまとめていただいたら、市長へ提出いただく。その後、本市として移転候補地を含む再整備の方針について、具体的な検討を市役所の内部で行い、今年度6月以降の出来るだけ早い時期に基本方針案を公表し、早速取り掛かっていきたいと考えている。

●委員

そういう方向性であれば、出来るだけ文章に、速やかな着手を希望するというようなニュアンスで書いていただければありがたい。

○事務局

そうさせていただきます。

●委員

今、移転に関してこの会議だけでもいくつかの意見が出ているので、基本方針案が出来る過程かその後か分からないが、何らかの形で市民の意見を聞くという手続きを踏む必要があると思う。それを列記している6番目に書くか書かないかは検討していただければ良いが、書かない場合は議事録に意見を聞くということを留めていただきたいと思う。

○事務局

前回の会議で少しご説明させていただいたが、現在市民アンケートを実施しており、その結果も踏まえ、基本方針案を策定する予定である。

●委員

それで結構だが、問題は具体的な移転場所が入った時に、市民の方がそれを知ると、色々な形で反応が出てくるので、それを何らかの形で吸収するような手続きを踏む必要があると思う。

●座長

移転案が出た後に市民にご意見をいただく。どういう格好でいただくかは事務局と相談しなくてはいけないと思う。具体的な移転案が出た時の市民の反応はなかなか難しいところがあると思う。全部の意見が100%良かったというのはなかなか難しい。出来るだけ多くの人に納得いただき、移転新築が出来るような形にしたいと思う。

○事務局

方針案が固まったら、具体的な場所も含めて市民にパブリックコメント、意見公募を行政手続きとして行い、その結果を踏まえて最終的に判断していきたいと考えている。

●委員

資料4の12ページに「必要病床数」があるが、医療法上、地域医療構想での必要病床数が決まっている。その前後の4が「必要な診療機能」、5(2)が「必要な建物規模」となっているので、「な」を入れて「必要な病床数」とした方が良いのではないかと思う。はじめにも「必要病床数」となっているので、意味は分かるが、地域医療構想の言葉と同じものを使わない方が良いだろう。

○事務局

そうさせていただく。

●委員

資料4の10ページ32行目に「疾病ごとの対応については、糖尿病など医療技術に大幅な進歩が見られない疾病」とあるが、私は門外漢なので分からないが、進歩が見られないという表現は気になる。

○事務局

修正させていただく。

(2) その他

●委員

新しくしていただいた病院は、私たちにもとても使いやすい、また、誇れるような病院にしていただきたいのと、医療従事者の方々がより仕事をしやすいような環境の西市民病院にさせていただくことを切に願っている。

それから、私たちは病気のことはあまりよく分からないが、若いお母さんたちが気軽に来られるような病院、子どもを連れて順番を待つのは大変なので、保育所のような、一時預かりができる場所も新しい病院には作ってほしいなと思っている。

●委員

西市民病院の来院患者の交通手段を見ていると、他の市民病院は徒歩が少ないが、西市民病院は徒歩が20%と多く自転車も多い。そうすると現在の場所から少し離れると、市民の方の反発があるのではないかと思う。私はあまりあちら方面に詳しくはないが、見ているとあまり良い場所がないような気がする。先ほど学校跡地という話があり、それも非常に良い案だろうと思ったが、結局交通の便を考えると、市バスの路線を変えてでも、利便性を作っていないといけないと感じた。

それから、病院だけ作るということではなく、まちづくりということも一緒に考えてもらおうと、良いものが出来てくると思うので、その辺りもお願いしたい。

●委員

今回の有識者会議はあくまであり方を検討する会議であり、今後は移転場所などが重要な課題だと思うので、十分議論いただき出来るだけ早く進めていただければと思う。

●委員

診療機能に関しては、今までの議論を踏まえてまとめていただきありがたい。病院のアメニティの充実など、例えば地域連携等は位置関係ということが書かれているが、病院の機能の中に連携する仕組みが入るような建築構造上の工夫など、中核病院なので、地域の医療従事者に対する教育的な機能等も持ち合わせていただけると良いと感じた。

●委員

議論を十分尽くしており、内容的に問題はないと思うが、表現のところで少し気になったところがある。資料4の4ページ35行目に「中央区には高次の小児医療を担う医療機関が複数あるため、それらとの連携を強化することが求められる」とあるが、「それらとの連携」というのは、高飛車のような感じなので、「それら施設との連携」などもう少し優しい表現が良いのではないかと思う。

それから、7ページ一番上に「神戸市の悪性新生物」となっているが、厚生労働省は「悪

性新生物」という表現を使っているが、日本医学会では「悪性腫瘍」に統一しようとしている。これはどちらでも良いと思うので、どちらを使うかは神戸市にお任せするが、日本医学会の方は「悪性腫瘍」である。

●座長

今は確かに両方使われており、「悪性腫瘍」というと腫瘍でない、例えば白血病などはどうなるかということで、「悪性新生物」が良いという先生方もおられる。血液内科を中心に。リンパ腫とか、血液のがんとか、新生物は腫瘍じゃないと言う方もおられる。調べてみて統一した方が良ければまた変えさせていただきたいと思う。

●委員

今までの議論を踏まえて、この報告書案は全て網羅されており、これ以上の報告書は書けないと思うので、これで十分だと考えている。先ほども少し触れたが、今後のステップである。先ほどからご意見が色々出たが、市民の意見も吸収した上で、出来るだけ早く次の段階に進んでいただき、ゆくゆくは西市民病院らしく、近くで立派にリニューアルされることを願っている。

●委員

ここに書かれているほとんどのことは、医師の先生方が十分議論されたことなので、私は移転新築のことだが、移転について6月以降に速やかに公表されるということで、大きな期待を持っている。また、その時に市民の意見を聞くという、パブリックコメントをされるということで、市民の意見を取り入れていただき、市民病院という名の通り、市民のための病院ということで、市民の意見を十分に受け入れていただいた立派な病院にしていただくようお願いしたいと思う。

●委員

今までの中核病院の役割や機能については、何も言うことはない。ただ、先ほどもご意見があったように、やはり地域連携の機能が一番中心になっていただきたい。病院で治療をするだけでなく、まちづくりに関わるということになれば、そういう連携がもっともあって良いのではないかと思っている。

●委員

先ほどパブリックコメントを行うということで、それで結構だという風にお話したが、ただパブリックコメントというのは、十分に市民の意見が反映されるかということ、必ずしもそうではないと思う。そうすると、そこを切り抜けたとしても、後で病院に対する何か疑念や不信感があると、実際の診療においてまたコストが発生するので、結局市民の意見

を十分吸い取るということは、どこかでコストを払わなければいけない。パブコメで十分コストを吸収できるという判断をされたのであればそれで結構だと思うが、そうでないような感じもするので、その辺りを十分検討し、どのように市民の意見を吸い取るのかということを考えていただきたいと思う。

それから、各部分に関しては付け加えることは何もない。ただ、Ⅰ章では西市民病院の現状と課題というのがあり、施設の状況のところでは駄目だというようなことを書いている。Ⅱ章で市街地西部の中核病院が担うべき役割・機能ということで、相当議論をした。そうすると、Ⅰ章とⅡ章の関係が少ししっくりしない。つまり、現状と課題のところ、これではいけないということを書いておいて、次に役割・機能の議論に入っているが、そうすると役割・機能というのは、Ⅰ章の現状のままでは駄目なので変えましょうと、ついでに役割・機能を考えているのではないかという印象を受ける。これは私の勘違いかもしれないが、この会議の議論の仕方としては、今後の中核病院として西市民病院が担うべき役割・機能考えた場合に、現状ではとても駄目だということである。そうすると、現状と課題のところ、Ⅱ章で検討しているようなことを考えた時に、やはり現状ではとても無理だということⅠ章で書く必要があるのではないかという気がした。私の考えすぎかもしれないが、一読するとそういう感じがしたので、採用されるかどうかは別として、ご検討いただければと思う。

●座長

今言われてなるほどという感じがした。あり方検討委員会で検討したところ、現状では無理だと。Ⅱ章とⅠ章が逆、逆というか、混合するか、極端に言えばⅡ章がⅠ章で、Ⅰ章がⅡ章となればというような感じか。

●委員

この順番で構わないと思うが、役割と機能をⅡ章で書いており、これを考えると、Ⅰ章で書いていたように、現状では無理だということどこかではっきりさせる必要があると思う。例えば、現状と課題の最後のところで、特に今後の市街地西部の中核病院が担うべき役割・機能を次で検討するが、これを考えた場合には現状では難しいというような形にするのが1つの方法だと思う。

●座長

事務局と私、座長で預らせていただいてよろしいか。

●委員

私が申し上げたことへの対応はお任せする。

●委員

資料5の43ページ一番下の5疾病のところ、「がん、脳卒中、急性心筋梗塞」となっているが、「急性心筋梗塞」は「心血管疾患」になっているので、修正してほしい。

○事務局

承知した。

●座長

去年の8月から皆さんのご協力で色々のご議論いただいたが、今日でこの有識者会議は最終日ということになる。今日、報告書案にいただいた色々なご意見を事務局と相談し、報告書にまとめたいと思う。最終的な報告書については、申し訳ないが私の方に一任いただきたいと思う。

○事務局

これまで、委員の皆様方には5回にわたり、様々な専門的な見地、それから地域を代表する方々のご意見ということで、ご議論いただき感謝申し上げます。最終的には座長と文言をまとめさせていただくが、報告書の形をまとめることができた。

コロナの話になるが、本日、新規の感染者数が神戸市内で227人ということで、これは神戸市内としては過去2番目の最高数値である。依然としてこのような厳しい状況に置かれており、報道もされているが、一昨日も昨日も自宅で入院調整中の患者が亡くなったということを会見もさせていただき、自宅では3人、宿泊療養施設でもお1人亡くなっており、医療提供体制が逼迫を超え、もう少し危ない段階に差し掛かっているのかなということで、非常に心配しているところである。

感染者が本当に増えているので、医療提供体制を飲み込んでしまうような今の状況になっているが、この1年あまり、このコロナの対応を各医療機関がそれぞれの立場で受け止めていただき、コロナの受入れ病院、または受け入れていないところは転院の受入れ、または診察、その他薬剤師の先生方を含め、様々な方にご協力いただき何とか対応しているところである。このコロナの対応を通じて、おそらく全国民が医療提供体制、病院の、医療機関の大切さというのを改めて認識したのではないかと思っている。

神戸市としても、将来にわたって医療体制をコロナに限らずしっかりとしたものにしていくことが必要であるし、この市街地西部地域の中核病院をしっかりとしたものにしていくことが必要だと考えている。特にこの西市民病院については、先日も院長のところにお邪魔させていただき、もう一度コロナの病棟も含めて見させていただいたが、阪神・淡路大震災で西市民病院は倒壊し、このような検討会をする間もなく、将来のことも考えずに応急処置で建て直しをしたということがあるので、十分ではない施設になっている。そのような非常に苦しい中で、コロナ対応もしていただいている。コロナだけでなく災害

時も含め、今後の市街地西部の医療提供体制をしっかりとしたものにしていくためには、この有識者会議の報告書の内容に沿って、しっかりと病院に移転建替えをしていきたいと考えている。

今までも申し上げてきたことだが、特に私としては2点強く思っている。1つが神戸市全体の3次救急を補完する、高度な医療までを提供できる市民病院にしていくこと、もう1つがコロナのような新興感染症への対応のために、第二種感染症指定医療機関を取るか、またはそれと同等程度の病院にはするという。この2つはマストだと考えている。移転新築ということをお決めいただいたが、ご意見をいただいた中で、来院者の利便性、または医療機能の提供を十分にすること、または地域医療機関との連携、それと市街地西部のまちづくりにも寄与すること。この観点を十分に踏まえ、最適な場所を至急検討し、先ほども申し上げたように、本市として再整備の方針を具体的に検討し、今年度の6月以降の出来るだけ早い時期に基本方針案を公表して、パブリックコメントも行い、出来るだけ速やかに行動に移していきたいと考えている。今日で有識者会議は終わりであるが、先生方には様々な場面でまたこれからもご指導、ご鞭撻を賜りたいと思っているので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

○事務局

委員の皆様には長い間、専門的なお立場、あるいは地域のお立場から大変建設的なご意見をいただき、感謝申し上げます。市民病院機構としては、地域医療という視点から西市民病院の今後の新たなあり方について、大変建設的で貴重なご意見をいただいた。その中で、同時進行的にコロナということで、市民病院機構は神戸市のコロナ患者対応において、市内のおよそ半数の患者を3つの市民病院で受け入れている状況にある。そういう日々刻々と緊張感のある中でやってきており、その中で委員の先生方には今後の西市民病院のあり方について貴重なご意見いただき、同時進行で進むことによって、より今後どうすべきかということについて、非常にリアリティを持った感覚で我々は接することが出来た。改めて御礼申し上げます。

そして、この会議では、市民病院機構の4つの病院がどうあるべきかということについてもご意見をいただいたが、これは大変ありがたいご意見である。神戸市と一体となり、地域医療の今後のあり方について、そしてコロナを含めた、今後も起こり得る想定外のことに対応していけるような柔軟性を持った組織として取り組んでいきたいと思うので、今後とも色々なご意見を忌憚なくいただけたらありがたいと思う。そして、委員の先生方のご意見をいただきながら、西市民病院が新たな展開に進める、そのような日が1日でも早く来ることを願っている。

以上